

令和4年度「特色ある学校づくり対策事業」実践事例報告書

佐世保市立早岐中学校

所在地 〒859-3203 長崎県佐世保市陣の内町 100 番地

校長 近藤 隆生

生徒数 616名

学級数 22学級

教育目標「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」

校訓「友愛・創造・健康」



1 はじめに

本校の教育目標は「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」である。自分を育ててくれている地域や自然、人々を愛し、そして自分が愛されていることを感じることで、これからの未来を担う生徒たちの大きな糧となることと考える。

今年度は全校生徒616名、通常学級18学級、特別支援学級4学級でスタートした。また、昨年度より通級指導教室(ゆたか教室)が本校に開設され、本校の生徒や近隣中学校の生徒が通級した。

生徒たちは純朴で活動的で、毎年体育大会や文化発表会などの学校行事で、大きなエネルギーと集団の団結力を発揮している。今年度も引き続き新型コロナウイルス感染症の影響から5月2日に市内一斉臨時休業、本校においても10月に複数の学級が閉鎖になるなどの影響があった。しかしながら、佐世保市中学校音楽発表会が3年ぶりに開催され、感染症対策を講じながら実施された佐世保市中学校体育大会では、生徒たちは、感謝の気持ちをもって全力で競技に臨み、感動を味わうことができた。また、昨年度、全国中学校総合文化祭出場予定であった演劇部は、新型コロナの影響で出場を断念した。今年度は、その悔しさをばねに北九州市で開催された全国中学校総合文化祭に出場し、多くの観客に感動を与え、賞賛された。吹奏楽部においては、感染症対策を行いながら日々練習を積み重ね、昨年度と同様に県北地区大会で金賞となり県北地区代表として8月の県大会への出場を決めた。まさしく、先輩たちが積み上げた伝統をきちんと引き継ぐこととなった。3年生が楽しみにしていた修学旅行については、当初の時期を変更し、コロナ対策を講じ11月に熊本を訪問することができたことが、思い出として生徒たちの心に強く残っている。

保護者はもとより、教育に対する地域の関心は高く、早岐地区自治協議会青少年健全育成部をはじめとする諸団体からの支援、行政施策面からの支援など、地域が一丸となって将来を担う生徒たちの成長を支えていただいている。このような環境の中で、本市の「特色ある学校づくり対策事業」を有効に活用することにより、家庭・地域との連携をさらに深めながら、本校の教育目標の具現化に努めた。



2 テーマと取組

「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」の具現化のために、早岐＝「は」「い」「き」という三つの文字を頭文字にした学校像にちなんだ取組を推進した。

また、保護者・地域へ積極的に広報活動を行うことで、学校・家庭・地域が手を取り合い、連携して学校教育を推進し、未来を担う早岐の生徒を育てている。生徒の心の教育や学力向上についても、本事業を推進する中で、様々な取組を行っている。

テーマ「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」		
は	はきはきと挨拶ができる学校	生活信条「凡事徹底」によるあいさつに対する意識の高揚 職業講話によるキャリア教育
い	居心地のよい学校	i-Checkの活用による生徒理解の深化・生徒指導の改善等
き	規律のある学校	いのちや健康、性教育、薬物乱用防止教室等に関する講演会 保護者や地域への広報活動

3 実践内容と成果

(1) 学校経営スローガン「一歩前に」 及び 生活信条「凡事徹底」

校舎 2 階に学校経営スローガン「一歩前に」～どうしたい？今できることを積み上げよう～ 生活信条「凡事徹底」～成功の鍵は、よき習慣にあり～の横断幕を掲げ、常に意識させた。



(2) お先にあいさつ運動

早岐地区小中学校の共通課題である挨拶について改善を図るために、教職員と生徒会役員（毎日）、PTA（新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を見ながら学年ごとに1週間ずつ）が「お先にあいさつ運動」を連携して推進している。そして、早岐中学校一徳運動の「お先にあいさつ」の幟を新調するとともに、生徒が考えたあいさつ標語が書かれた幟を持って生徒会役員が校門付近であいさつ運動を行った。また、今年度は、あいさつ運動用のウィンドブレーカーを作成し生徒会役員や教職員が着用することで冬場のあいさつ運動に対する意欲向上を図った。



(3) 第2学年職業講話及びゆかた着付け教室

コロナ禍により職場体験学習が困難となったため、代わりに外部講師を招聘して、2日間にわたって職業講話を実施し、生徒の興味・関心を高めた。また、3年ぶりに地域の方を講師としてお招きし、ゆかたの着付け教室を実施したことで日本の伝統文化のよさを生徒たちに味わわせることができた。講師の方々も生徒たちの笑顔を見ることができ、大変喜んでおられた。



(4) おやじの会による夜間パトロール

おやじの会で4年ぶりに夜間パトロールを実施し、子どもたちの夜間外出の状況把握や声掛けを行うことができた。また、約2時間に及ぶパトロールにより教職員と保護者との間に自然に会話が生まれ、学校の現状についての共通認識が図られ、お互いの信頼関係が深まった。

(5) i-Check（2回目）の実施による指導法の検証と新たな課題への対策

今年度は、11月末に2回目のi-Checkを行い、7月以降に学年・学級で意識して取り組んできたことがどうだったのかを検証した。また、2回目の結果を分析し、学年・学級の新たな課題を発見し、その後の指導に役立てた。

(6) プリント作成 Web サイトを活用した基礎学力の向上

基礎学力の向上を図るために、有料のWebサイト「みんなの学習クラブ」を活用してプリントを作成・配付し、授業や放課後の個別指導に活用した。

(7) 家族のふれあいアップ

学校オリジナルカレンダーを各家庭に配付することで、家庭での会話や挨拶などふれあう時間を増やすきっかけにした。

(8) 学校カレンダーの地域配付による広報活動

学校カレンダーを地区の公民館や自治会長などに配付することで学校行事を意識していただき、連携を図るようにした。



(9) 外部講師による心とからだの教育 思春期教室

（保健関係の講演会）

生徒の心とからだの成長を促すために、各学年を対象として外部講師を招聘し、次のとおり思春期教室を実施した。

学年	日時	内容・講師	
3年	9月22日（木） 5～6校時	性教育『デートDV防止教室』 国際ソロプチミスト佐世保パール 金子 紀子 様	
1年	10月 7日（金） 5～6校時	性教育 『いのちについて考えよう』 長崎県看護協会 助産師職能委員 山口 沙織 様	
2年	10月26日（水） 6校時	性教育『セクシャリティを越えて』 Take it!虹 代表 儀間 由里香 様	
1年	11月 4日（金） 5～6校時	歯科指導 『新型コロナウイルス感染症について』 『いつまでも自分の歯で食べるために』 学校歯科医 渡邊 吉郎 様	
2年	11月16日（水） 6校時	薬物乱用防止教室 学校薬剤師 関 佳子 様	

4 おわりに

今年度も昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためにいろいろな制約があったが、特色ある学校づくりの取組があったからこそ工夫して実施できたことが多い1年であった。また、年々生徒会の意識が高まり、活動が活発化した1年でもあった。そして、「我が早岐を誇りに思う生徒の育成」について、「一歩前に」という学校経営スローガンのもと懸命に活動してきたことによって着実に前進している。しかしながら、不登校や学力向上という課題が残っている。保護者の協力を得ながらこの課題に対して取り組んでいく。

